

福岡市議会・令和3年度決算特別委員会で質疑 「ジェンダーと防災」「指定管理者選定について」

古川議員は令和3年度決算に関し、福岡市の災害対策費や避難所運営の施策等を質問し、DX(デジタルトランスフォーメーション)を活用した防災、ジェンダー視点の避難所運営等を提案した。

高島市長は、「古川議員が指摘のとおり、DXの活用などによる業務の効率化を進めるとともに女性をはじめ全ての人に配慮した避難所運営に取り組む。防災先進都市・福岡を目指す」と応じた。(9月26日)



実現へ。ひとりの声からはじまった！主な質疑内容

災害時にトイレ機能が麻痺した事例があるが



避難所のトイレ対策は携帯トイレや簡易トイレを備蓄。仮設トイレやマンホールトイレを整備し対応する。議員提案の合併処理浄化槽トイレも含め対応を検討したい。(局長答弁)

ペットも家族。ペットを残して避難できない



ペットの同伴避難の場合、一般の避難所とは別に専用の避難所を確保する課題がある。他都市の事例も参考にしながら検討していきたい。

(局長答弁)

避難所における避難者情報のDX化も重要

避難所でのDXの活用は避難者の受け入れや人数把握の迅速化など効果があり、国においてデジタル庁主導による実証実験が開始されており、国と連携しながら積極的に取り組んでいく。(局長答弁)

SDGsの理念に基づいた防災を



女性をはじめ高齢者、障がい者、乳幼児、外国人、性的マイノリティなど全ての人に対する適切な配慮を基本理念として挙げている。(局長答弁)

これからの指定管理者選定について市長の所見を

○指定管理者制度は民間の有するノウハウを活用することにより、住民ニーズの多様化に効果的・効率的に対応できるものである。この制度をより効果的に運用していくためには、古川議員が指摘のとおり、競争性を確保し、民間のアイデアを活用していくことが必要である。

○民間の意見をしっかりと伺い施設運営に反映していくことや、指定管理との信頼関係を深めていくことが、施設の魅力向上につながるものとする。今後も民間の意見、施設利用者の声を伺いながら、競争性の確保に努め制度の適切な運用に取り組んでいく。(高島市長答弁)

天神の歩道がスツキリ歩きやすくなります！！

福岡市では平成13年と15年の2期連続で天神地区の放置自転車台数が、全国ワースト1位となるなど、大きな社会問題となっていたことから、道路外の駐輪場が整備されるまで暫定措置として路上駐輪場を整備してきました。

その後、啓発・撤去による放置自転車対策を行うとともに、シェアサイクルの普及や、民間ビルの協力や市営地下駐輪場の整備を進めた結果、天神地区の放置自転車が大幅に減少。この度、明治通り沿いと渡辺通り沿いの路上駐輪場約510台分を令和5年1月までに撤去し、ゆとりある歩行空間と景観の改善をはかります。



2016年9月議会で質問に立った古川議員

2016年9月議会

古川きよふみ 過去の議会質問より

質問

福岡市が運営している路上駐輪場で違法な利用でトラブルが発生しているが認識は？

局長
答弁

議員指摘のケースと同様のご意見が本市にも寄せられており、その対応に苦慮しているところである。

質問

歩道の一部を占領している路上駐輪場はユニバーサル都市としても景観の問題からも好ましいと思わないが認識は？

局長
答弁

自転車の乗り入れ台数などを検証しながら、路上駐輪場は暫定施設であり段階的に廃止して参りたいと考えています。

質問

天神地区は駐輪場として活用できそうな土地は限られている。民間ビルと協力した立体式の駐輪場や地下空間の駐輪場を整備すべき。

局長
答弁

市役所西側の地下街駐車場の仮設車路を駐輪場として整備する。また議員指摘のように民間ビルの更新の際に容積率を緩和する制度を活用するなど行政と民間が力を合わせ自転車利用の環境向上に取り組んでいく。

実現
しました

質問

天神の路上駐輪場対策、景観確保、誰もが安心して歩ける歩道の確保は天神ビッグバンのプロジェクトの一つとして忘れないでほしい。

高島
市長
答弁

古川議員ご指摘の、歩行者の安全や景観の面から、暫定施設である路上駐輪場は好ましくなく、無くしていくべきという意見に賛成である。ただ一度に撤去すると放置自転車が増える課題もあるため、段階的に路上駐輪場を廃止していきたいと考えている。